

予備調査（インタビュー） 参加者募集



児童虐待ハイリスク家庭に対する 社会資源へのアクセス調整に関する研究

募集対象

以下のすべてに該当する方

- ✓ 市区町村に所属する常勤行政保健師（保健師としての実務経験年数3年以上）
- ✓ 子ども家庭センター または 母子保健・子ども家庭福祉担当部門に勤務している方
- ✓ 過去1年以内に、要支援児童・特定妊婦等への支援調整の実務経験がある方
- ✓ 所属部署における児童虐待ハイリスク家庭への支援体制の内容や運用の概要を把握している方

研究の趣旨

児童虐待ハイリスク家庭が必要な社会資源につながるまでには、行政保健師を中心とした様々な調整や工夫が欠かせません。本研究では、保健師の皆さんが日常の実践の中で培ってきた支援調整の知識や経験を丁寧に伺い、その内容を整理することで、支援の質向上に役立てることを目的としています。

実施期間

2026年4月～2027年1月（予定）

予備調査の内容

社会資源へのアクセス調整の実態に関するインタビュー

研究者が整理した「社会資源へのアクセス調整に関する項目（案）」について、実務の場面に即しているかどうかを中心に、皆さんの経験や視点からご意見をインタビューによりお伺いします。

調査方法・所要時間

実施概要

- 形式: 対面 / オンライン(Zoom等)
- 時間: 1回 60分程度
- 日程: ご都合に合わせて調整

研究参加と謝礼について

- 本研究への参加は自由意志によるものです。途中で辞退されても、不利益は一切ありません。
- 研究で得られた情報は匿名化し、個人や自治体が特定されることはありません。

謝礼について

研究協力への謝意として、1,000円相当の謝礼を予定しています。

お問い合わせ・研究責任者

山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 地域・老年看護学講座
緒方 彩乃

お問い合わせ・ご相談
☞ フォームはこちら

